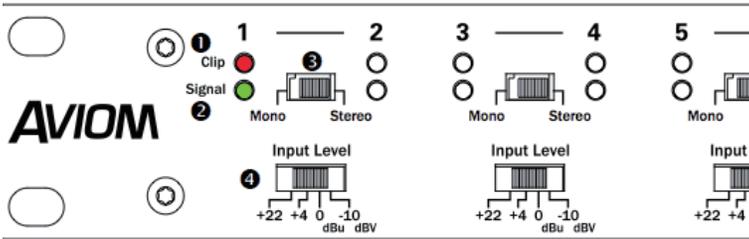
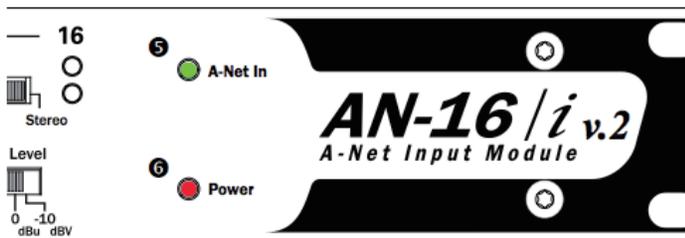


# AVIOM AN-16/i v2 クイックマニュアル

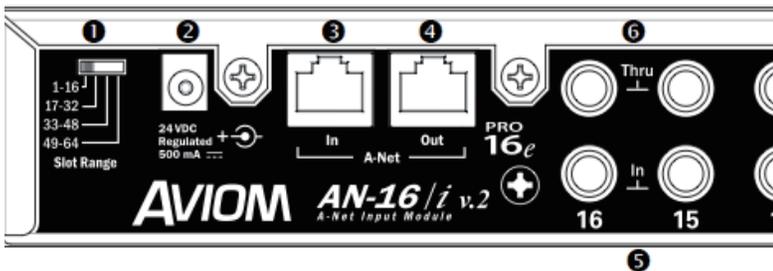
## ■フロントパネル



1. クリップ LED : フルスケールの -3dB で点灯。
2. シグナル LED : チャンネルに信号が入力されると点灯。
3. ステレオリンクスイッチ :  
左側の時はモノ、右側の時は、ステレオペアに設定されます。
4. インプットレベルスイッチ : 4つのレベル切替えスイッチ
5. A-Net LED : A-Net 信号を受け取ると点灯します。
6. 電源 LED : 電源が入ると点灯します。

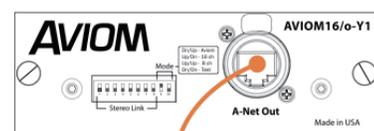
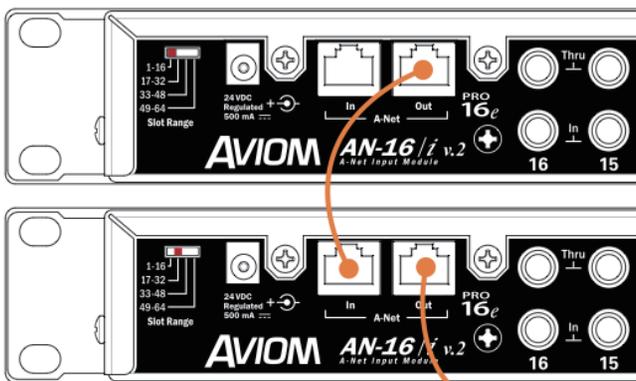


## ■リアパネル



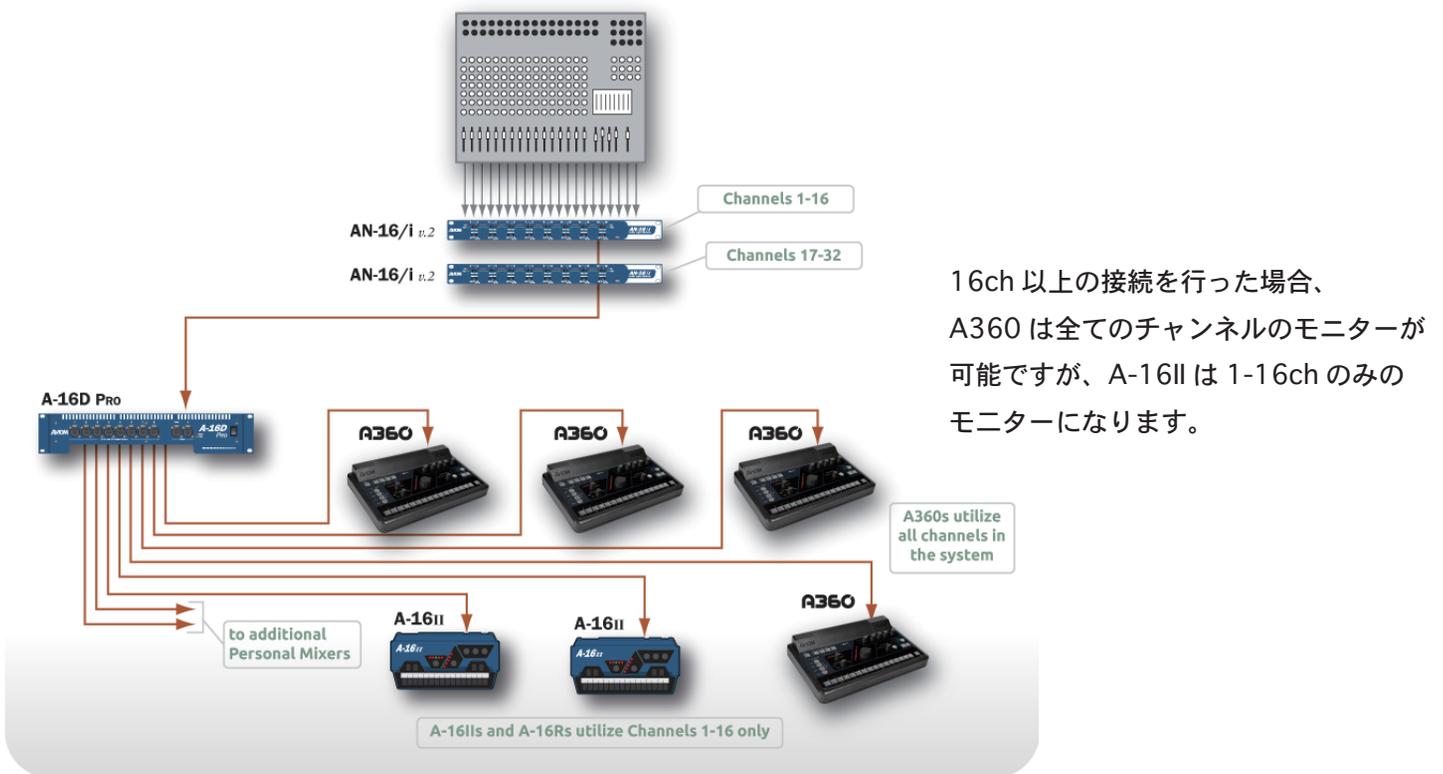
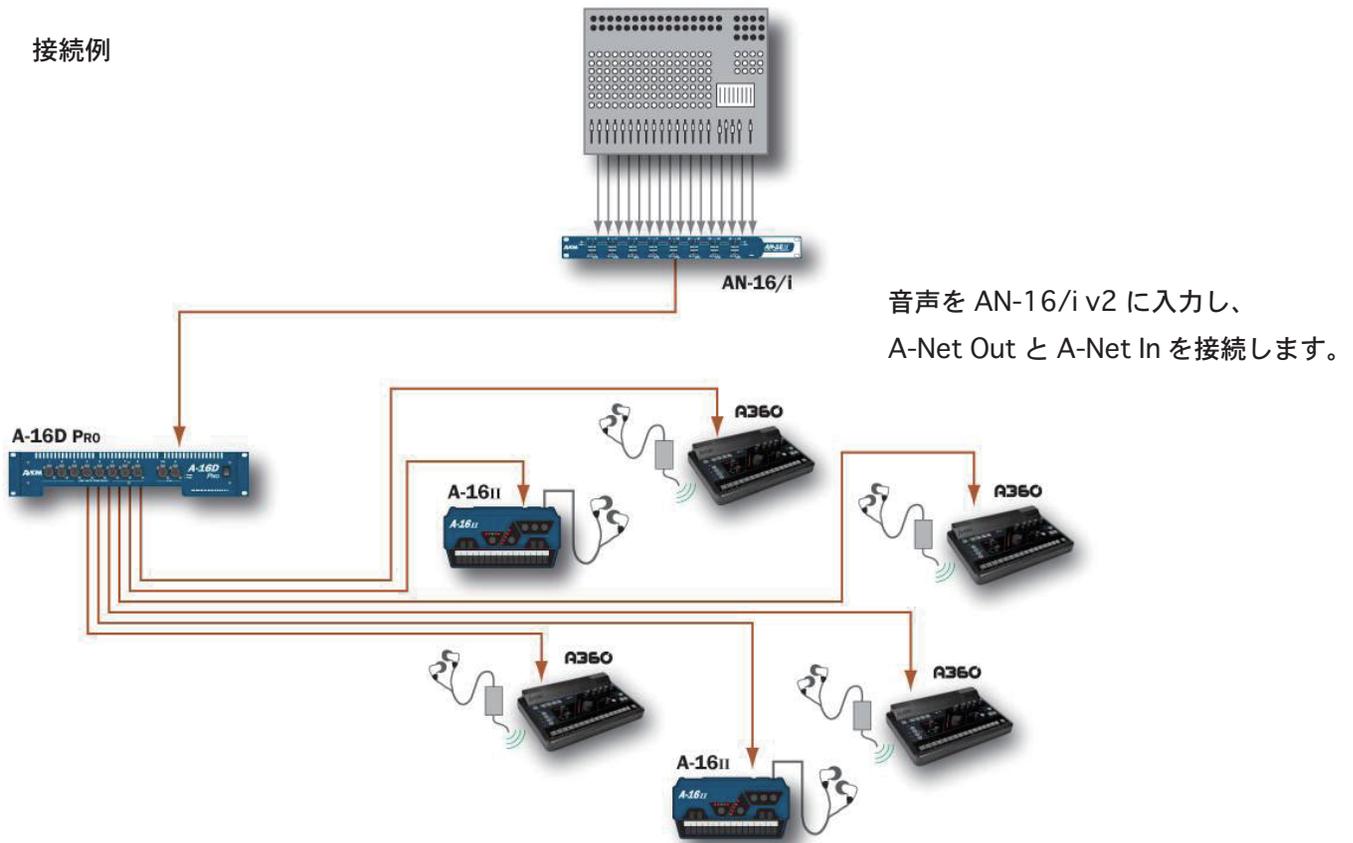
1. スロットレンジスイッチ  
ネットワークのポートレンジを選定し、  
伝送するチャンネルを選択します。
2. DC パワージャック : AC アダプターを接続します。
3. A-Net In ジャック : A-Net Out を接続します。
4. A-Net Out ジャック : A-Net In と接続します。
5. アナログオーディオインプット : TRS 1/4" 入力端子
6. スルージャック : オーディオ「In」のスルーアウト

### 16ch 以上のシステムを利用する場合の接続方法



- 1 台目の AN-16/i のポートレンジを 1-16 に設定。2 台目の AN-16/i のポートレンジを 17-32 に設定。
  - 1 台目の A-Net Out と 2 台目の A-Net In を接続してください。2 台目の A-Net Out は A-Net ディストリビュータ等に接続してください。AVIOM16/o-Y1 と接続する場合は、Y1 の Out を 2 台目の In に接続してください。
- Pro16e を使用する場合の Cat-5e のケーブル長は、最大 122 メートルです。

接続例



A360 を Default モードに設定した場合、32ch のモニターが可能です。AN-16/i v2 をステレオに設定すると A360 のチャンネルボタンにステレオで割り当てられます。AN-16/i v2 をモノに設定すると、偶数チャンネルは無視され、奇数チャンネルのみ立ち上がります。

